

報道関係 各位

2018年5月1日
株式会社日本レースプロモーション

2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ JRP タバードの運用に関して

拝啓、日頃は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます

2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズにおける、JRP タバードの運用方法をお知らせいたします。

第2戦 オートポリス大会から、決勝当日(日曜日)のピットロードにおけるムービー取材において、耐火服の着用取材を、これまでの決勝時の運用から、練習走行を含んだ全日運用に変更いたします。

今回の変更は、2スペックタイヤ全戦導入などのレースフォーマット変更に伴い、練習走行時からの給油作業が想定され、ピットロードでの危険度が増していると判断したところによります。

近年、スチールカメラで動画を撮る方が増えてきており、スチール取材申請にも関わらず、ピット作業エリア内で耐火服の着用なしにムービー撮影を行っている方が散見されます。ピット作業エリアでのご取材は、下記の取材エリア図の通り、JRP が許諾し耐火服を着用したムービー撮影の方のみとなっております。機材に関わらずピット作業エリアでのムービー撮影を行う場合には、必ずムービーでの取材申請とJRP タバード/耐火服の着用をお願い致します。なお、ご申請いただきましてもタバードを発給できない場合がありますこと、ご承知おきください。また、タバード運用を守らずにご取材を頂いた場合には、タバードの没収、ご取材の中断とさせていただきます。安全なるレース運営の観点から、タバード運用の遵守をお願いするとともに、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

記

ムービー取材における耐火服着用の運用変更

○ ムービー取材：決勝当日(日曜日)全日の耐火服着用

以上

■参照:ピット廻りにおける取材エリア図

ムービー撮影の場合	
プラットフォームPlatform (Signeling Area)	○ 撮影及びコース前後(⇔)方向の移動可能。 JRPタバード/ JRPタバード + 耐火服
ファーストレーン (Fast lane) 補助レーン (Auxiliary Lan)	× 撮影禁止 プラットフォーム-ピットBOX間の横断は可。※走行車両には充分お気を付けてください。
ピット作業エリア (Working Area)	○ 撮影可能 JRPが撮影を許諾し、決勝日(日曜日)全日、耐火服を着用のうえ撮影可能。 JRPタバード + 耐火服
ピットBOX (PitBox) ピットBOX (PitBox) ピットBOX (PitBox)	△ ピット使用エントラントの許可を頂いた場合のみ、立入可。 JRPタバード + 耐火服
パドック (Paddock)	○ JRPタバード or サーキットタバード
スチール撮影の場合	
プラットフォームPlatform (Signeling Area)	○ 撮影及びコース前後(⇔)方向の移動可能。 JRPタバード
ファーストレーン (Fast lane) 補助レーン (Auxiliary Lan)	× 撮影禁止 プラットフォーム-ピットBOX間の横断は可。※走行車両には充分お気を付けてください。
ピット作業エリア (Working Area)	× 撮影禁止
ピットBOX (PitBox) ピットBOX (PitBox) ピットBOX (PitBox)	△ ピット使用エントラントの許可を頂いた場合のみ、立入可。 JRPタバード + 耐火服
パドック (Paddock)	○ JRPタバード or サーキットタバード